

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 55 回部会）会議録

日 時：令和 7 年 5 月 10 日（土）午後 2 時～午後 4 時 05 分 場 所：阪急電鉄洛西口駅周辺高架下（TauT（トート）阪急洛西口） 阪急桂駅施設内会議室
---

### 【議事】

- |   |              |
|---|--------------|
| 1 | 開会           |
| 2 | 部会長挨拶        |
| 3 | 質疑応答ならびに意見交換 |
| 4 | 閉会           |

### 1. 現場見学

※ 部会員のほか、高架下空間の利活用に関心のある地域の皆様等も参加。見学後、阪急電鉄㈱との意見交換等を実施。

### 2. 部会長あいさつ

#### （部会長）

- ・本日、高架下の利活用事例を実際に見学してみて、質問、感想、意見などを順番にいただきたい。

### 3. 質疑応答ならびに意見交換

#### （啓発地域にお住まいのかた）

- ・洛西口駅周辺高架下施設を見学し、行政と地域が密接につながって行っているように見えた。我々の地域でも、地域だけでなく行政に積極的に関わってもらいたい。

#### （啓発地域 部会員）

- ・阪急電鉄の担当者の方に色々聞きながら見学した。具体的な土地利用が決まるまでの当面の間、駐車場・駐輪場になっていることなどが分かった。高架下利用に関して、どのような規制（高さ、エリアなど）があるのかを知ったうえでまちづくりを進めていければと思う。

#### （啓発地域 部会員）

- ・とてもためになった。

#### （啓発地域にお住まいのかた）

- ・啓発、崇禅寺にもこんなところができるのかなと想像できた。

#### （啓発地域にお住まいのかた）

- ・とても素敵な駅周辺で、山も見えて環境が良いところで、自分たちの住むところもこんなふうになったらいいと思った。

#### （下新庄地域にお住まいのかた）

- ・とても理想的な高架下利用をされていて、我々の地域では全部叶えられないかもしれないし、できても十分に利用されないかもしれないが、今日見学したことを参考に、これから意見を出していきたい。来て良かった。

#### （下新庄地域にお住まいのかた）

- ・おしゃれで素敵な高架下利用をされていると思った。我々の地域で同じようにはできないかも知れないが、住んでいる人が楽しく、面白い、駅に来た人がまた寄り道したいと思えるような駅になればいいと思

う。

### **(下新庄地域にお住まいのかた)**

- ・見学してみて、イメージが湧いてきた。こちらは（線路に沿って）まっすぐの道だが、柴島から淡路を経由して下新庄や上新庄まで、我々の地域ではたくさん的高架下ができるので、各地域だけで考えるだけでなく、全体像を作らないといけないと感じた。下新庄だけではなく、他の地域の方とも話す必要もあると感じた。

### **(市会議員)**

- ・見学するまでは、高架下というと暗い印象があったが、陽が照って風通しの良い空間だった。我々の地域では、さらに高い高架下ができるので、もっともっといいまちづくりができるかと期待している。

### **(新庄地域 部会員)**

- ・以前から、新庄地域の高架下の利活用に、殺風景で、不安感を感じていたが、見学してみて、住環境がアップしていて素晴らしいと思った。
- ・高架下の利活用について、阪急電鉄の主導で計画・整備されたと思うが、地域や行政の意見はどの程度反映されたのか。

### **(菅原地域 部会員)**

- ・我々の地域もこちらと同じ高架化をしていくというところだが、整備までの道のりが違う。こちらは、以前は田んぼが広がっていて、そこで高架化されてまちができてきた。我々の地域はもともとまちがあるなかで高架化されるというステップの違いがあると思う。そこを同じようにやっていくべきかというところが疑問点。
- ・この辺りで実施されている事業としては、子育て世代に対する事業やその他の地域住民に対する事業が確立されていると感じた。我々の地域でも、各地域で分散して、うまく連携していくと全体としてうまくいくのではないかと、それに伴って、ぶらっと一周してみようとする人の流れが生まれるのではないかとと思う。
- ・阪急沿線のマンションでは、電車が詰まって止まってしまうと室内が丸見えになる場所があると思う。部分的にブラインドになるような設備があればと思う。

### **(新庄地域 部会員)**

- ・全体像のすり合わせが必要だと感じた。そのなかで、各地域が特色を出すのは、回遊につながると思う。
- ・賃料がどの程度になるのか、テナントが埋まるのかどうか、気になった。
- ・こちらと我々の地域とは、まちの成り立ちが全然違うが、コンセプトをしっかり出していき、大きなスペースをどのように活用していくか、そこに魅力があると感じている。
- ・今日は部会員以外の方がたくさん参加し、メンバーが増えてとても嬉しい。今後とも協議会の活動にぜひご参加いただきたい。

### **(西淡路地域 部会長)**

- ・阪急電鉄を中心に、民間事業者と行政、地域がうまく連携されていると感じた。やはり、民間事業者・行政・地域住民が三位一体となってまちづくりを進めていくことが重要だと改めて感じた。我々の地域でいえば、阪急、JR、病院や大学、高校、企業などと連携していく必要がある。

- ・見学してみて、高架下に色々入りたいと今後アイデアが出てくると思う。この集約の仕組みを各地域のアクションプラン、各地域のワークショップ等で進めていきたい。

#### **(阪急電鉄)**

- ・高架下の施設整備に関する規制については、本日ご見学いただいたような用途・規模の施設であれば、関係法令に基づき整備が可能と思われる。
- ・高架下の利活用にあたっては、商業施設のみならず、地域や行政のニーズも踏まえたまちづくりが重要と考えており、例えば洛西口～桂駅間では、2015年に京都市と包括連携協定を締結し、官民連携による高架下活用を進めている。なお、こうした協定がなくても、地域の状況や関係機関との協議により柔軟な対応が可能である。

#### **(コンサルタント)**

- ・高架下の土地は阪急電鉄の土地だが、施設を作るうえで、建築基準法上の特別な手続きなどは必要か。

#### **(阪急電鉄)**

- ・施設整備については、通常の土地利用と同様に建築基準法等の関係法令に基づき手続きを行っており、高架下空間全体を一括で整備するのではなく、用途や計画に応じて個別の区画ごとに順次計画・整備を進めている。

#### **(下新庄地域にお住まいのかた)**

- ・現状、高架下で帰宅困難者対策など、防災対策の利用をされている事例はあるか。

#### **(阪急電鉄)**

- ・大規模な駅では、一定の防災対策を行っているが、高架下空間の防災利用については現時点で特筆すべき事例はない。今後も状況や地域のご意見等を踏まえながら、適切なあり方について検討を進めてまいる。

#### **(久名誉教授)**

- ・高架下の利用に注目しがちだが、高架下とまちとの関係性がとても重要で、これからそこも含めて検討していく必要がある。
- ・今日見学させていただいて、一番良かったのは、マルシェをしていた広場。阪急電鉄が“場”を提供し、住民が手作りで運営し、まちを盛り上げていた。京都市の子育て施設は、全国で実績のある企業が手堅い運営をされているが、もう一歩進んで、このまちならではの地域の子育てサークルやNPOなどに運営してもらえともっと良いのでは。
- ・オープンエアーで天候に左右されず、通りすがりの人にも賑わいが目に見えて伝わる。室内の習いごとなどの商業施設もいくつも窓が開いているので、中で何をしているか見えていた。今日も、お子さんの体操をしている様子を外から親御さんが見学しており、それが賑わいにつながっていた。内と外の関係が「窓」で通じ合っているのがよかった。
- ・これまでの会館は、中で何をしているのかが外からは全く見えない。今回、いいヒントがもらえた。賑わいや自分たちの活動を外から見てもらえるような建物を増やせたらよいと思う。

## **4. 閉会**

- ・次回の部会は、7月10日(木)午後7時から、東淀川区役所出張所で開催予定。

以上